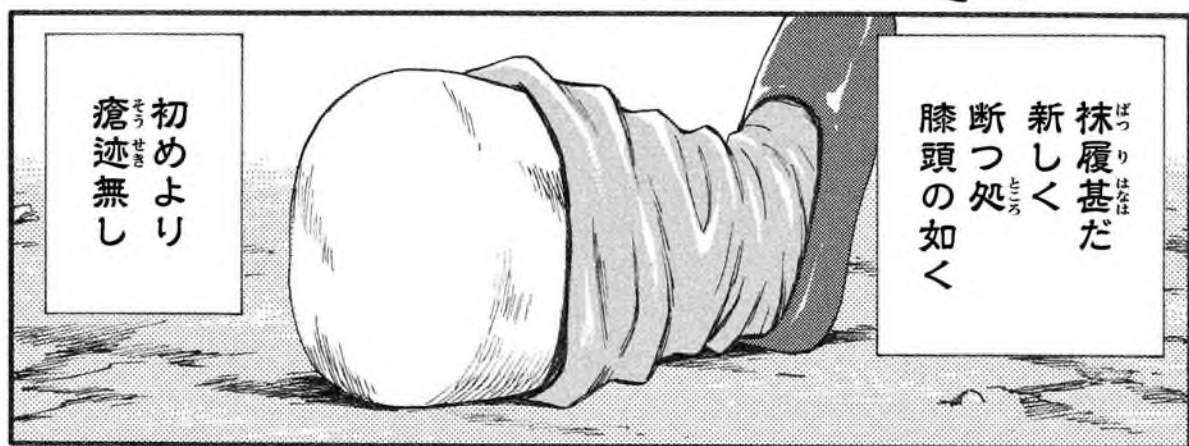
熊倉隆敏、極上奇譚をひっさげて降臨!

解形民

谷中に一つ人の股を見る

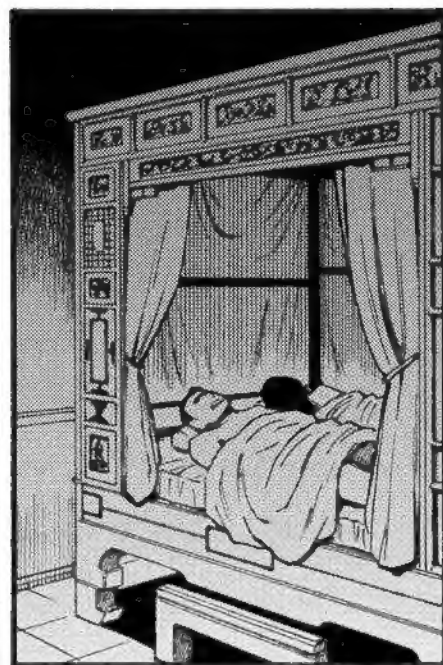
※処士……士官していない人　貞元……中国唐代で使われた元号　道侶……道士　華山……中国五名山の一つ

1

※袜履……靴や足袋　瘡迹……傷痕

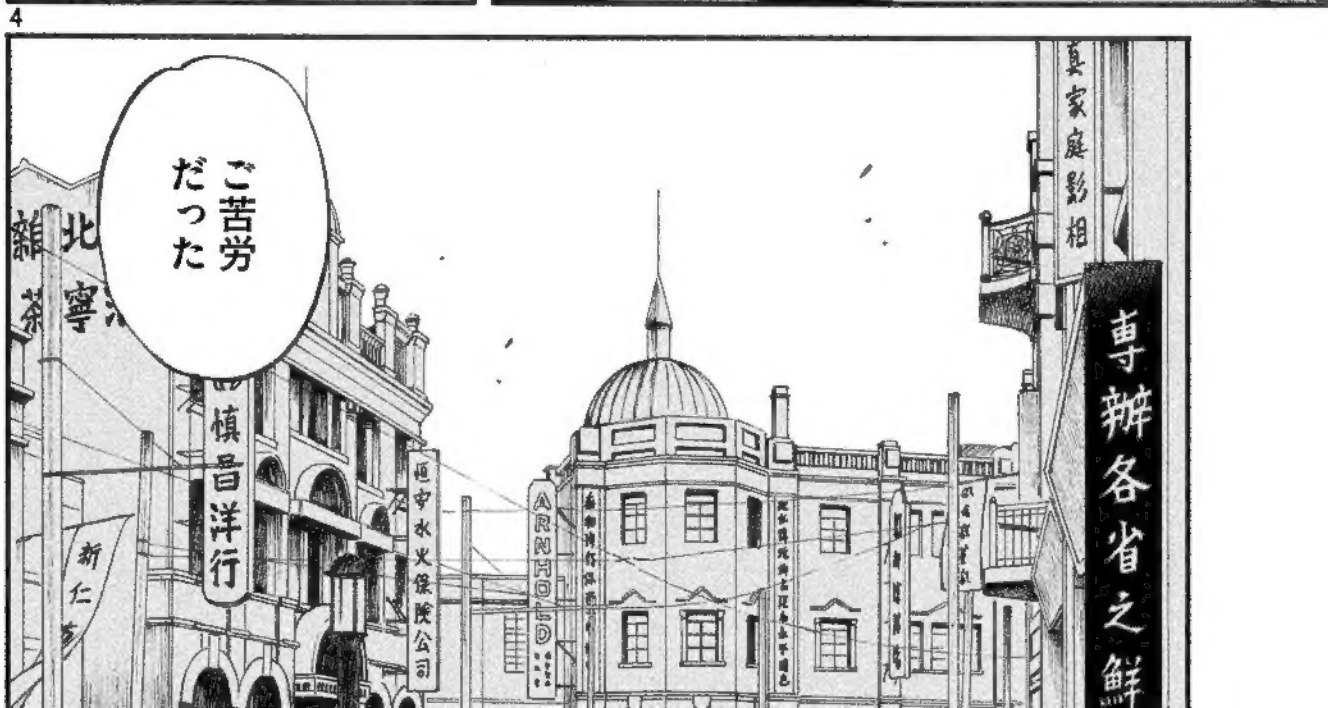
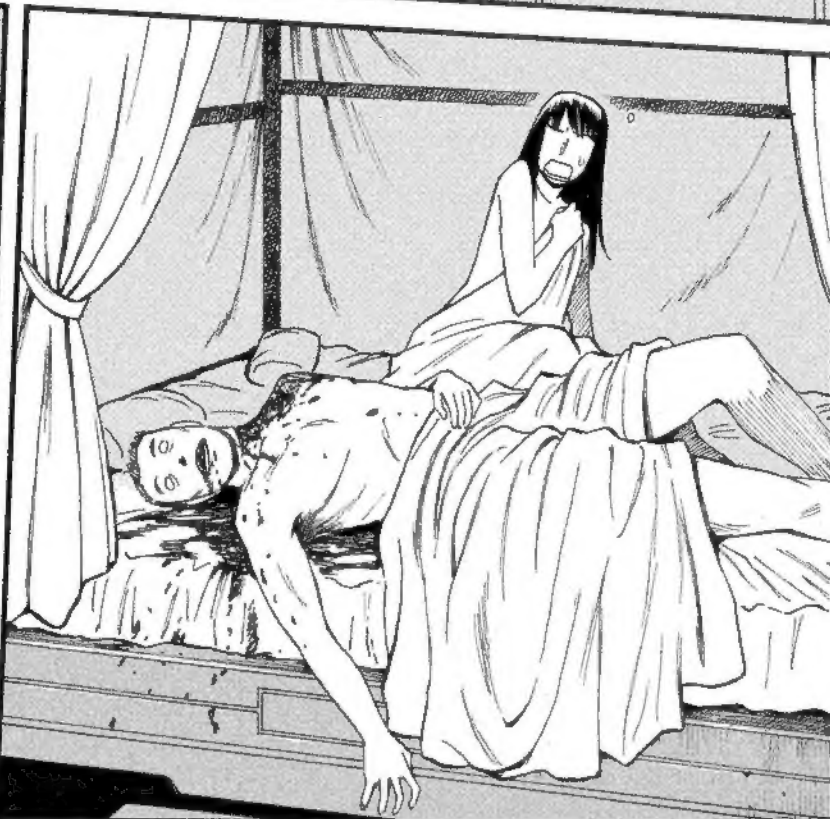
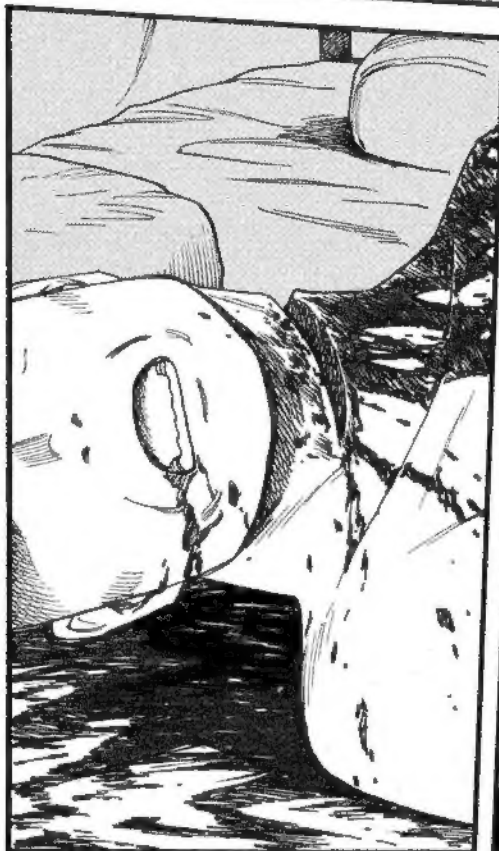
伝奇ピカレスク読み切り

解形民

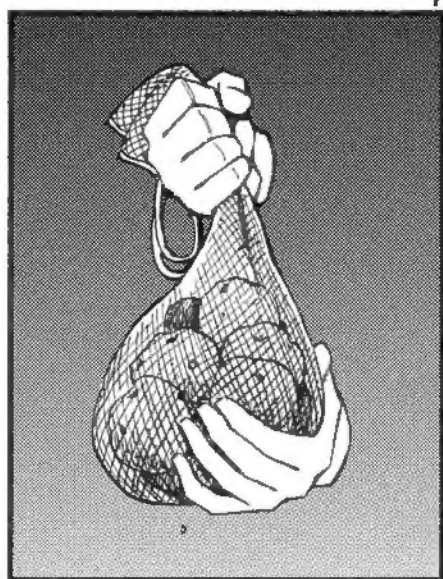
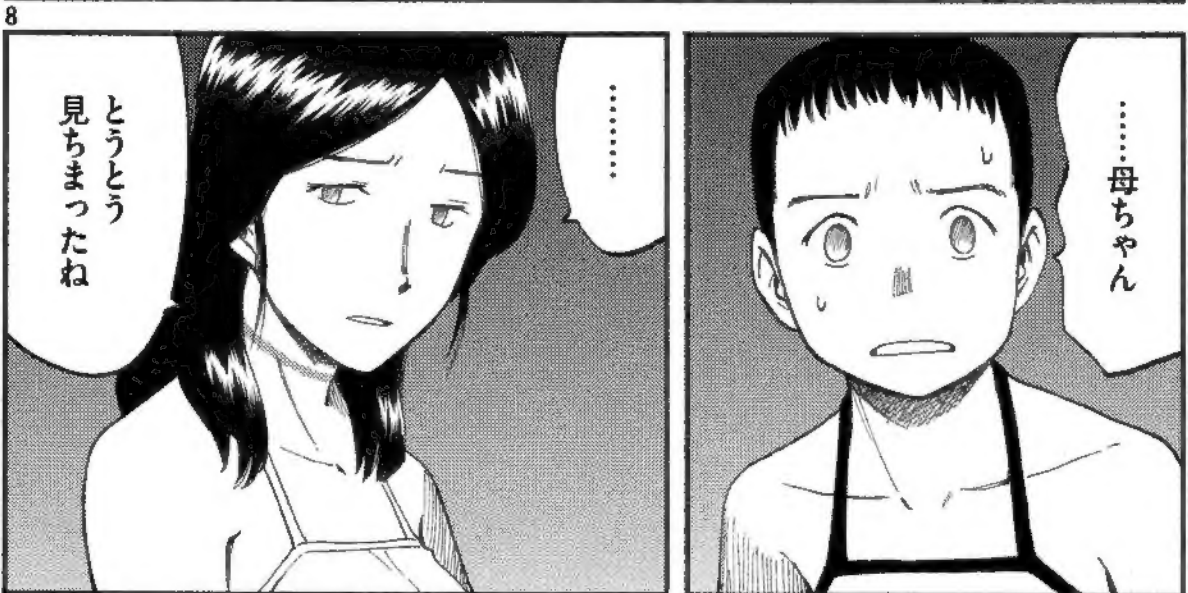
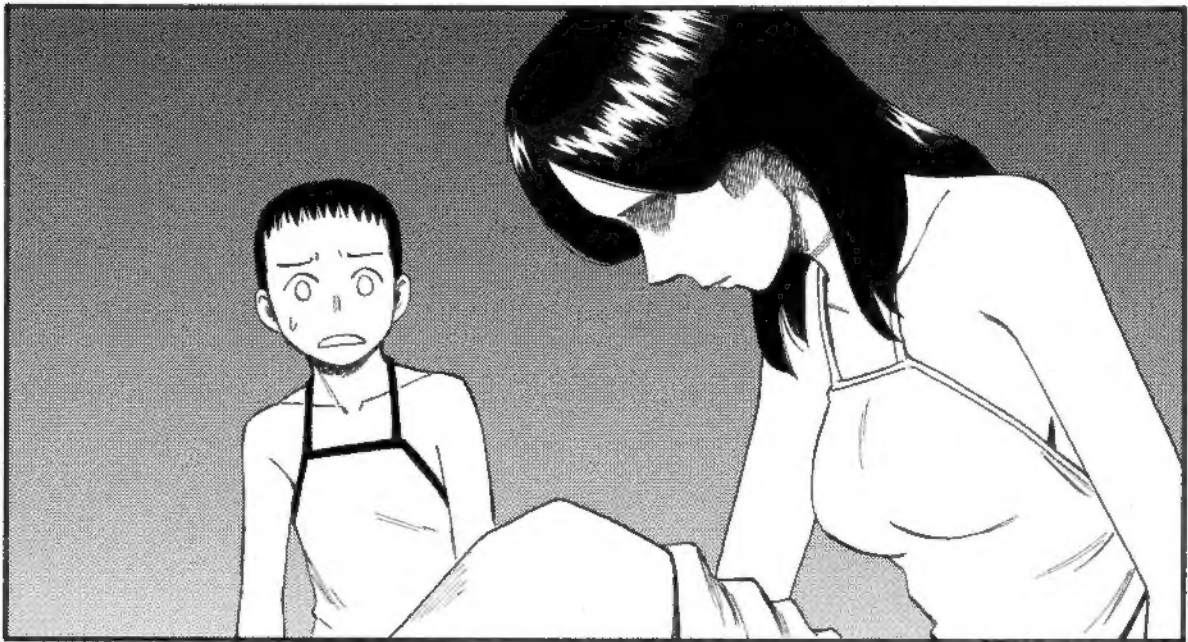
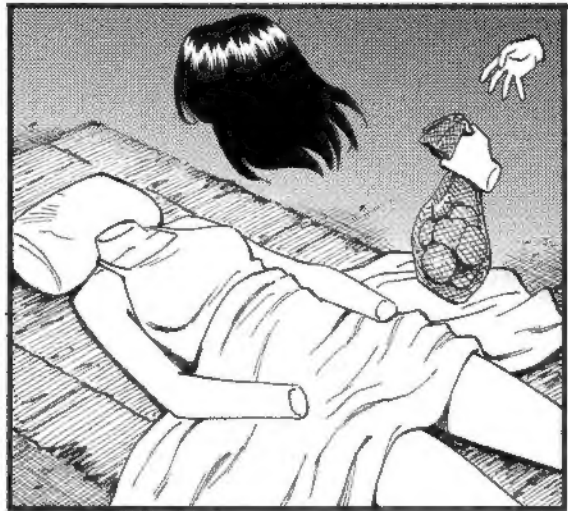
今年も活躍御期待ください!
熊倉隆敏
『もっけ』(全8巻)『ネクログ』(全4巻)
いずれも電子書籍で発売中!

民国初期
上海

※この作品はフィクションです。実在の人物・団体・名称等とは一切関係ありません。

きゃあああぁあッ

ご苦労だった
真家庭影相
專辦各省之鮮
禎昌洋行
ARNHOLD

作者近況

熊倉隆敏

お久し振りの熊倉です。初めましての方は宜しくです。連載企画出したい処ですが読切載せて戴きました。楽しんで戴けたら幸いです。近況的には年末に電気グルーヴの映画初日に2回見てその後恵比寿リキッドの地獄温泉行きました。楽しかったで……。

5

術じゃあ
ねェんだよなァ

スゥ…

……母ちゃん

………
とうとう
見ちまったね

私達はね
解形の民という
血族なのよ

夜中に首が抜け
飛び回る
落頭民という
似た種族も
居るけど
私達は
少し違う

両手も
抜ける

その芋は？

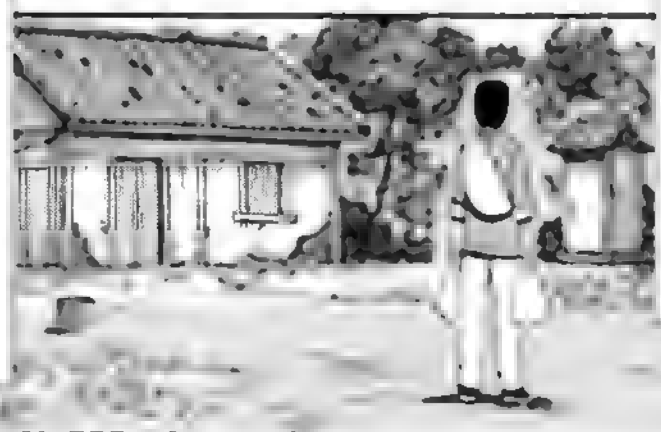
………
この事は
内緒よ

俺の家は
貧しかったが
不思議と
困窮する事は
無かった
それを不審に思う
村の奴等からはよく
いじめられてたよ

父ちゃんが
お前の母ちゃんの
首が飛ぶのを
見たってさ!
化け物で盗人かよ
酷ェな!
ははは

母子で生きる
為に仕方なく
やってくれた
事だ
俺は母ちゃんに
感謝してる

山の向こうを見て
よく言ってたモンさ

何処かに
解形民の村が
あるかも
しれないねェ

祟ったと思ったが

うあああああ

うるせえなァ

静かにしろよ

あぁ……ッ

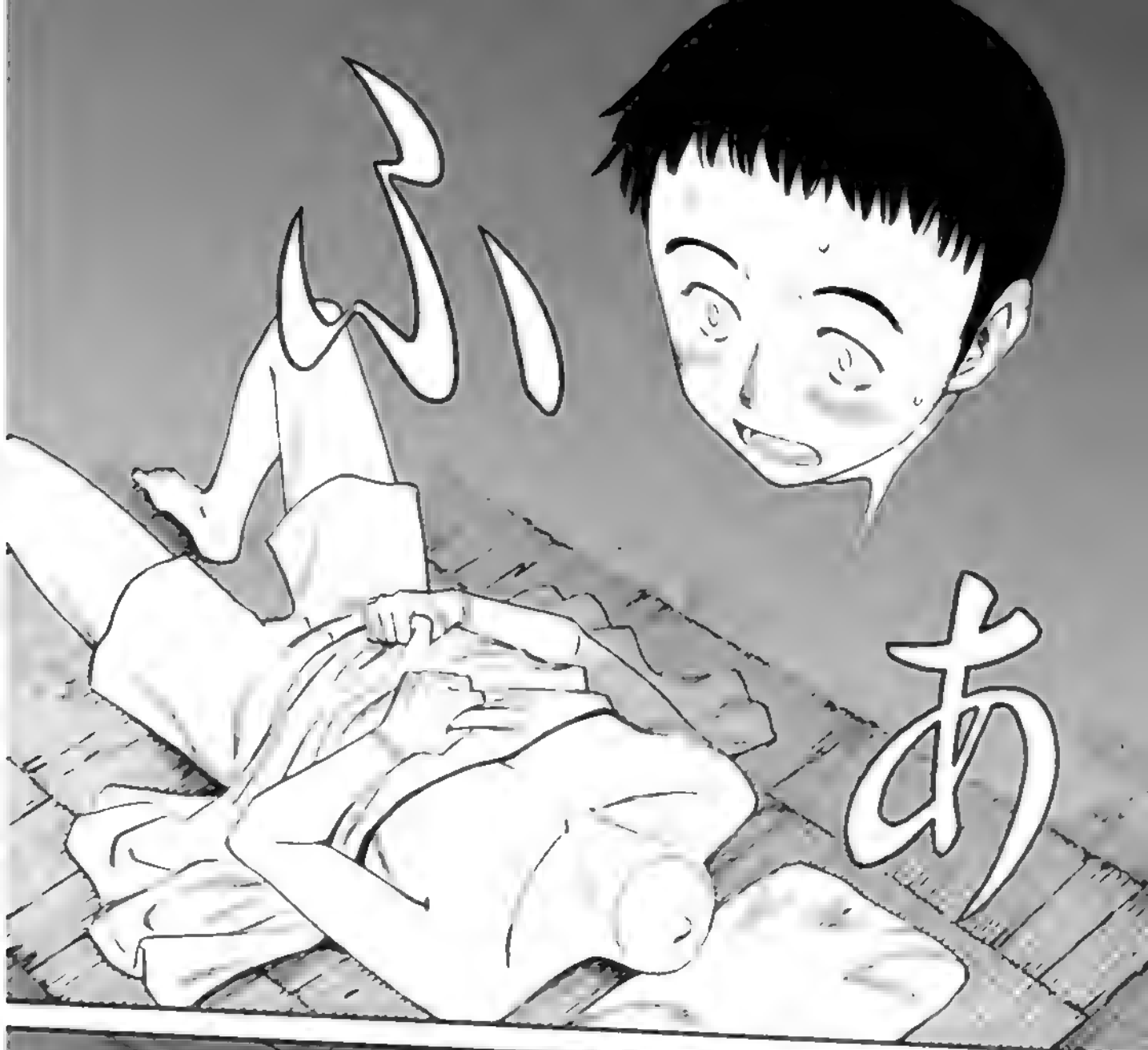
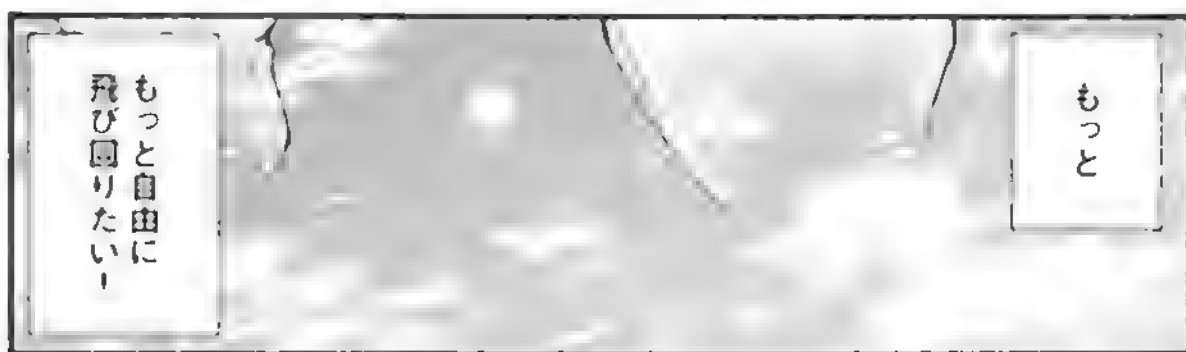
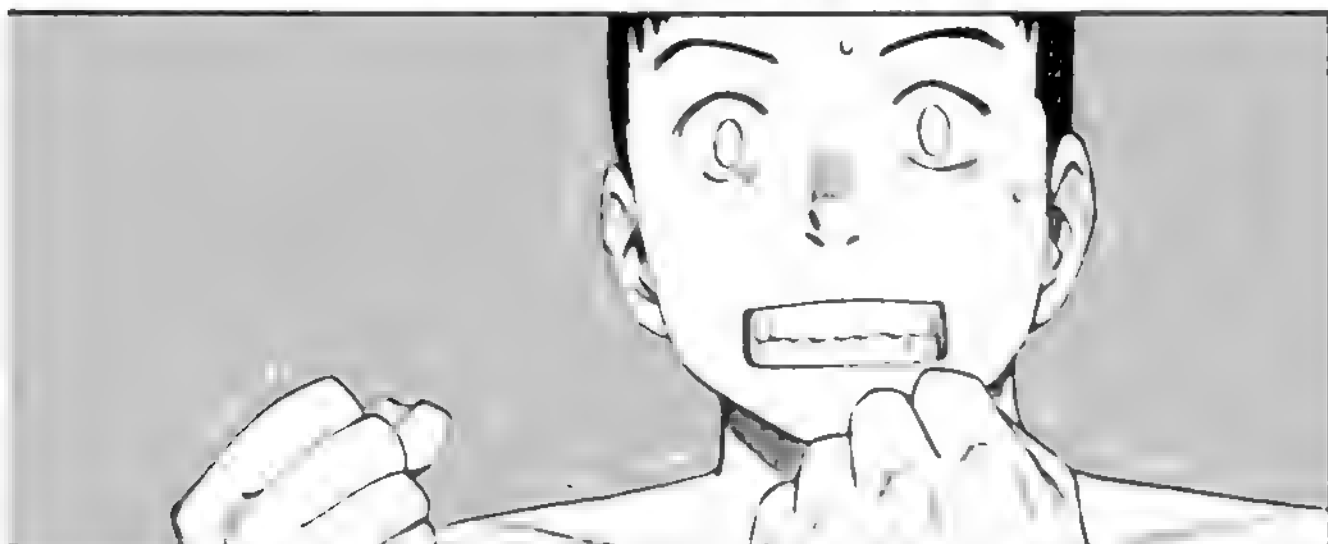
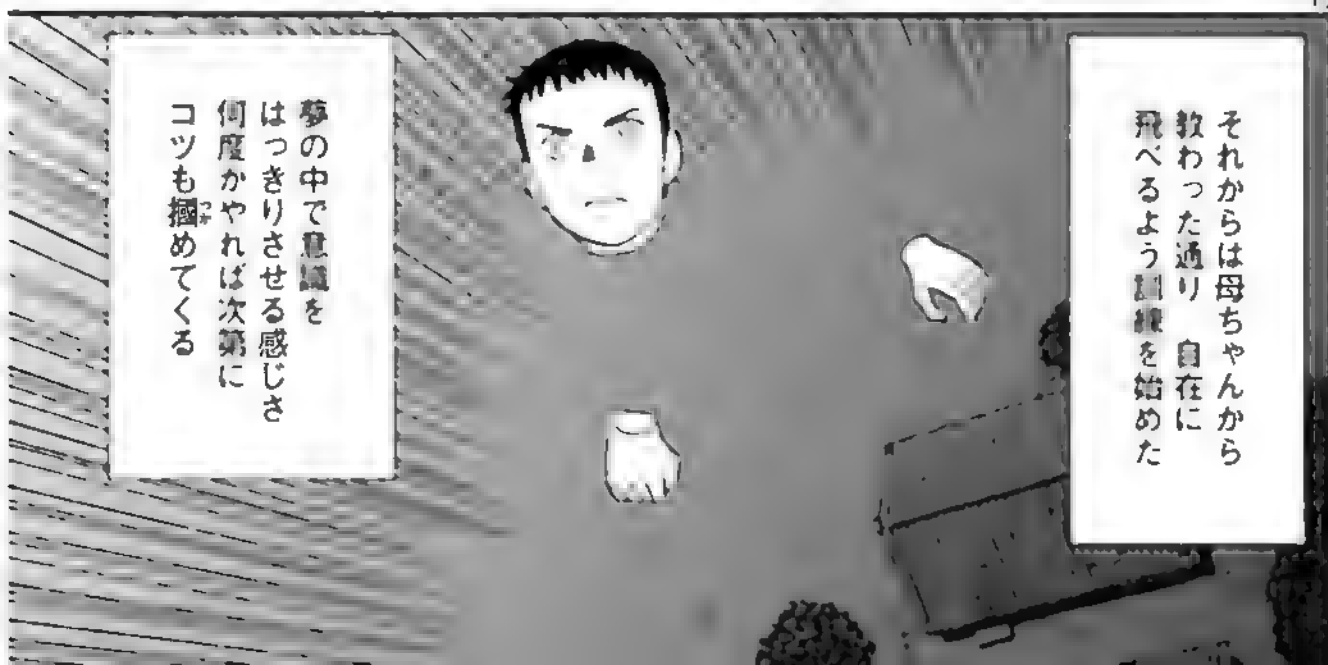
あ
ふぃ
ふっ

ふふ
風が涼しくて

ボーッとしてて

朝　起きたら首も手も
元に戻ってた

もっと
もっと自由に飛び回りたい!

それからは母ちゃんから教わった通り　自在に飛べるよう訓練を始めた
夢の中で意識をはっきりさせる感じさ何度かやれば次第にコツも掴めてくる

母ちゃんは抜けた後の身体の保護と長時間抜けてちゃいけない事をきつく言ってた

長く抜けてると死ぬって――

確かに五～六時間も経つと意識が薄れてくるんだ

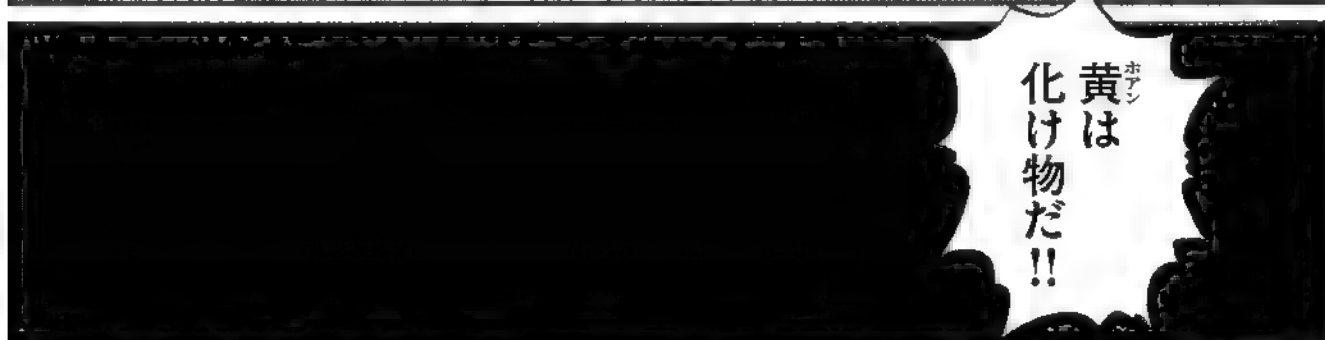
ギャア

だから慌てて戻るんだけどよ たまに鳥や暴風に邪魔されて何度か肝冷やしたぜ

ギャア

16

うっかりしてた
俺 アイツの首が飛んでるの見た事あるぞ！
うわッ おっかねえ

黄(ホアン)は化け物だ!!

数日後
適当な理由で
暇を出された
いっそ
清々したよ

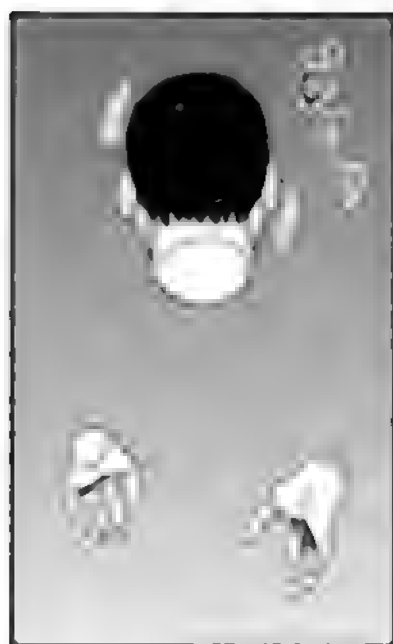
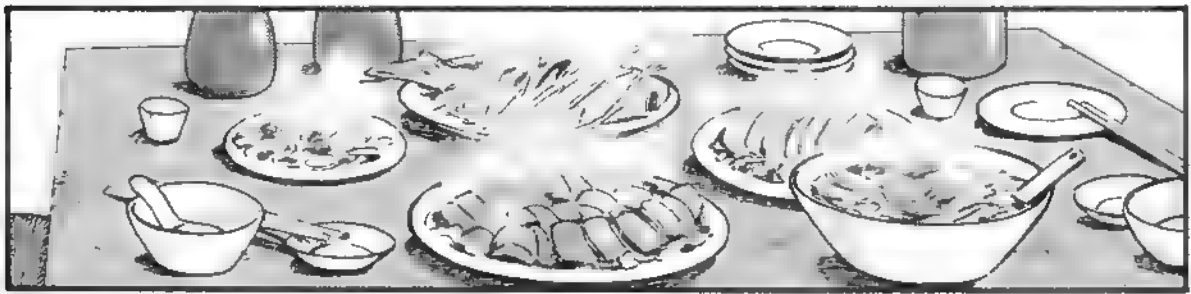
それからは
転々と流れて
暮らす日々
金？
心配ねェさ

生きる為
だからな

18

ヤベッ
見られた…
待てッ!!

お前
落頭民(らくとうみん)か!?

俺は解形民だ
首しか抜けない
奴等と
一緒にすんな
さあさあ
食ってくれ!
出会いを祝おう
じゃないか!
……

アンタは俺を化け物と思わないのか

俺は落頭民の末裔なんだ
血が薄くて抜けねェけどな
爺さんなんかは抜けてたぜ

ぐ〃い

手も抜ける奴等がいるって話は聞いた事あったが本当にいるとは思わなかった
はっきり意識を持って飛んでるのも落頭とは大違いだぜ
凄ェ！ホント凄ェよ

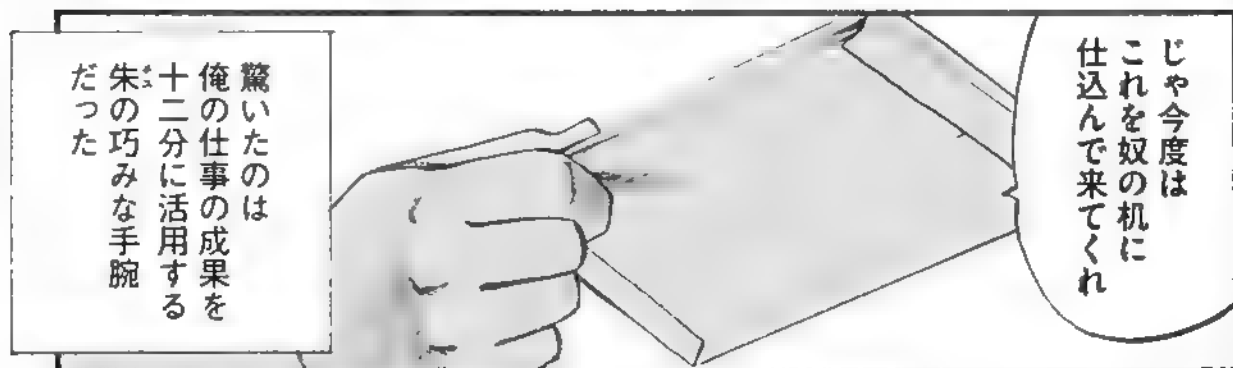
そんなに褒められるもんじゃ……
つまらねェ差別も受けて来たろう

なァ
俺と組もうぜ

見返して
やろうや

男の名は
朱鉄心
この辺の流氓の間には
既に顔役として
通っている人物だった

俺はまだまだ
こんなモンじゃねェ
もっと暴れて
いずれ大幹部に
なってやるぜ

なァ大哥よォ
この新入りは何が
出来るんだ？
コイツは
凄ェ奴だぞ！
今後の俺達には
欠かせない存在だ！

じゃ今度は
これを奴の机に
仕込んで来てくれ

驚いたのは
俺の仕事の成果を
十二分に活用する
朱の巧みな手腕
だった

俺達の勢力は
みるみるでかくなっていった
いやァお手柄だったぜ黄！
よくアイツらの隠れ家見つけたなァ！
アンタら強襲部隊も鮮やかだったぜ
誰が欠けても駄目なのさ
俺達はみ出し者が成り上がって行くにはよ
これからも宜しく頼むぜ
黄
何だよあらたまって

俺こそ
感謝してるよ
朱大哥
俺にも
やっと
居場所が
出来た

お招き感謝しますぜ申大叔
構わん構わん

お前が黄玄風か
はい

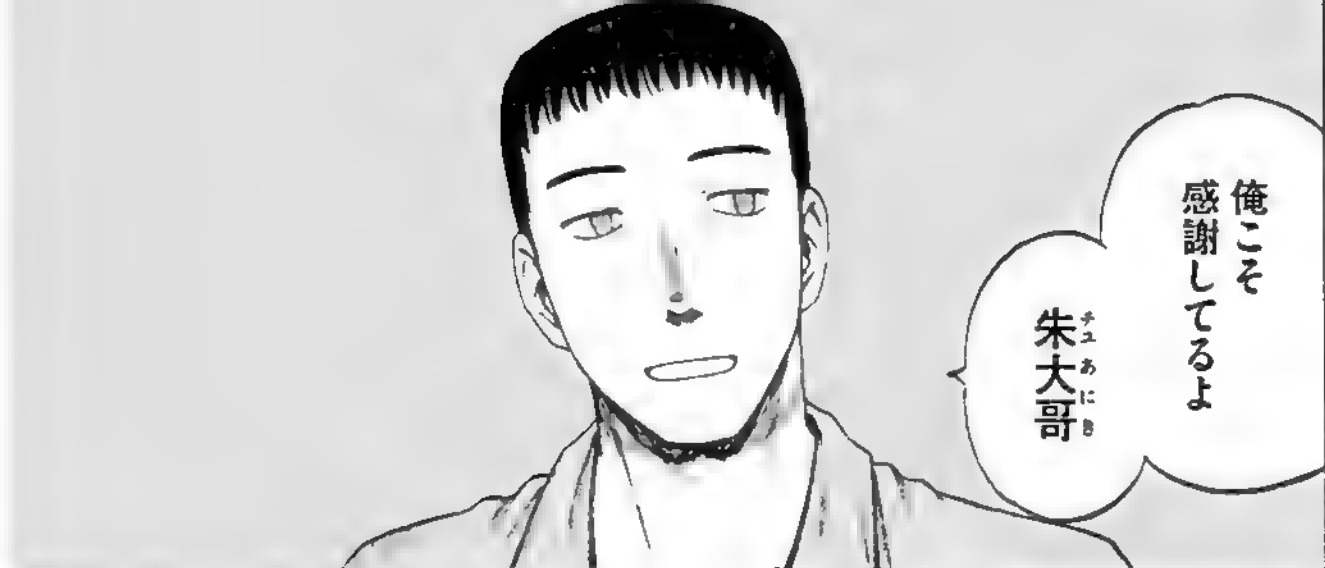
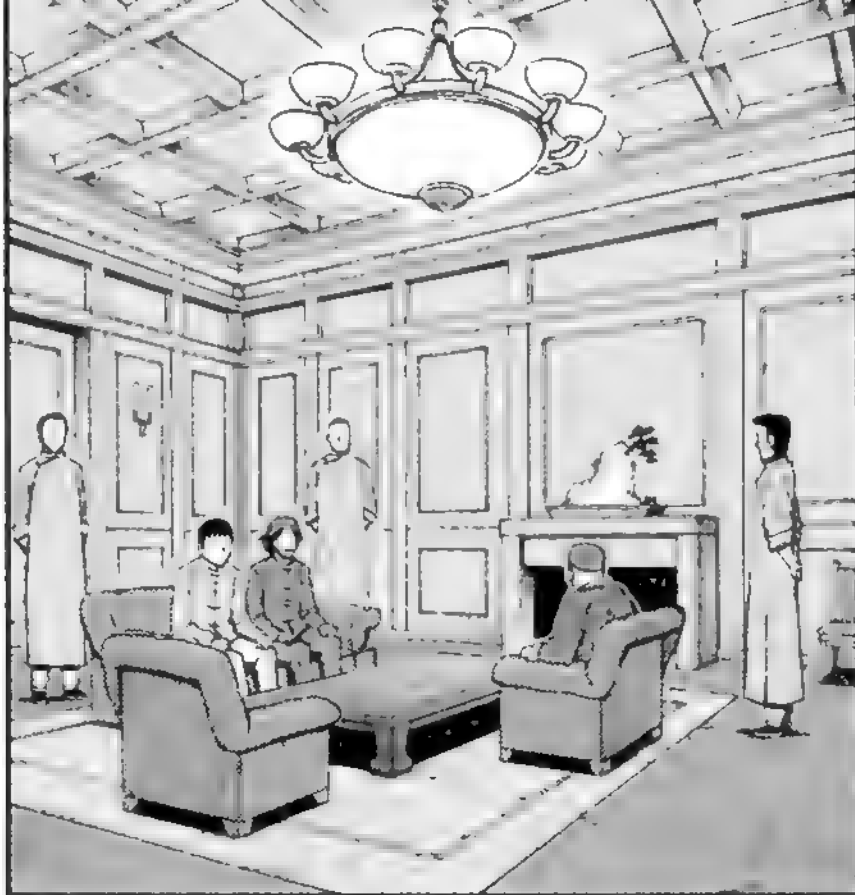
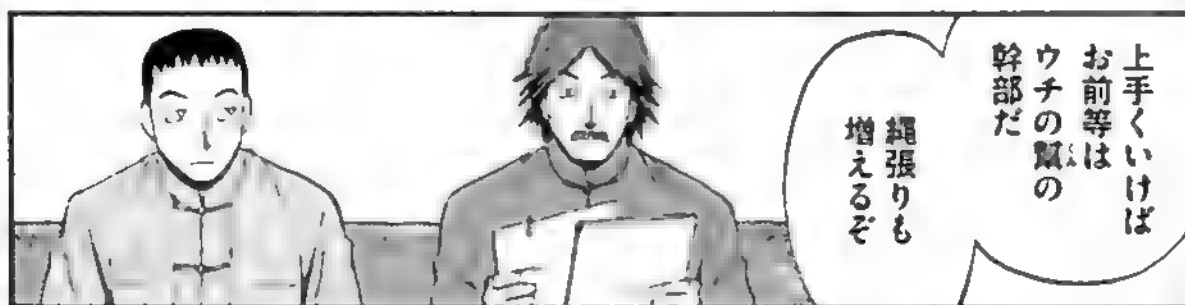
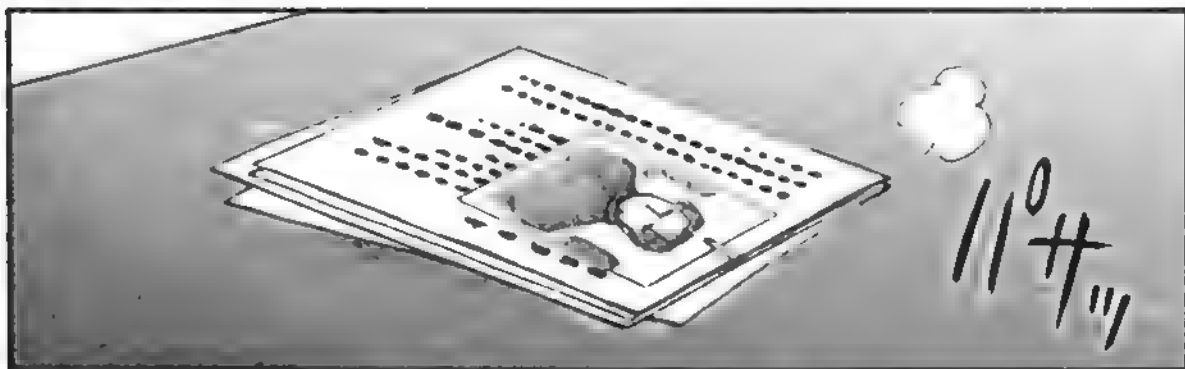
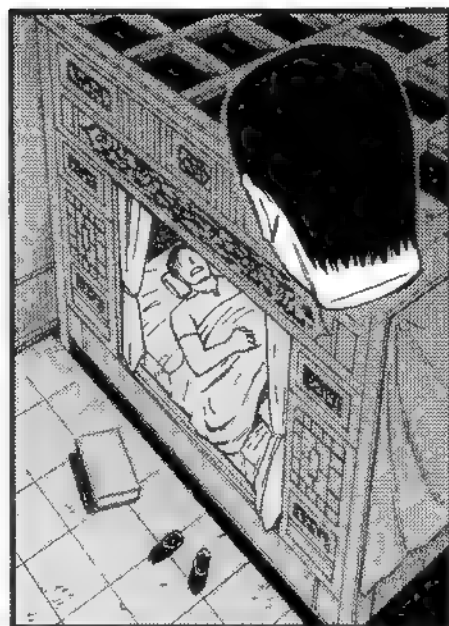
朱から聞いとるぞ
類い稀な才能を持つそうだな

しかし近日というのは大分難儀な……

…………

なるほど

そうさ
これは俺の為
でもあるんだ
やってやるー

ごぉぉ

いつものように
忍び込んで
ついでにこいつで
一突き

それだけさ

それだけ……

ばッ
化け物だ!!

化け物が
出たぁぁッ!!

ひッ

バタン

総経理どうしました!?

俺と大哥は

俺はその後も
難しいという始末を
幾つか任され
悉くやり遂げた

誰にも蔑まれや
しないんだ

朱鉄心の野郎このところ随分調子乗ってやがるからな
早いトコ何とかしねェとウザくてかなわねェ

狙われてますぜ大哥
東亜旅館

いつもの事だ
返り討ちにしてやるよ

申の大叔にもどんどん改めようって言ってんだが及び腰でてんで意気地ねェんだ
俺だったらもっと勢力拡げられる

ああ
大哥なら
出来るさ

頼りにしてるぜ
兄弟!
皆で力合わせて
もっともっと高みに
昇ろうじゃねェか!

はははははは!

ゴオオオオオオ

オォォ

ゴォォォォ

うおおおおお

ガシャアッ
くそがアッ!!
ほ
黄さん!!

行く気です!?

決まってんだろ!!
駄目ですよ!!

バッ
うるせエ!!

パシャ
ゴオオオオオ

ゴオオオオ
ギイッ…
ギシ…
オオオオ

ガシャアッ
ハッ
やっぱり来やがったな!!

待ち伏せて
正解だったぜ
先ずは
手前ェから……

フッ

!!

なッ……!
ジャラッ
うわァ マジで
首が飛んでやがる

噂通りの
化け物だな
つっても
正体分かりゃ
対処のしようも
あるってこった
だ 誰から
この事を……
中大叔と朱大哥
以外は誰も……
中はよォ
お前ェの大哥が
手に余るように
なったのさ

対立する幫同士
とはいえ立てる面子や
通すべき筋ってモンが
あるんだよ
それを新参のお前等
が引っ掻き回した
調子に
乗り過ぎたな

化け物は
化け物らしく
日陰でこっそり
暮らしてりゃ
良かったのさ

――俺は
化け物
じゃねェ――

やっちまえ

オレは
化け物じゃねええぇッ!!
な!?
ドッ
ガ
アッ

は？

ギッ
ババ
キャッ
あ……足も飛ぶなんて
聞いてねェぞ……！
チャッ

俺も聞いてる

ゴォオオオオ

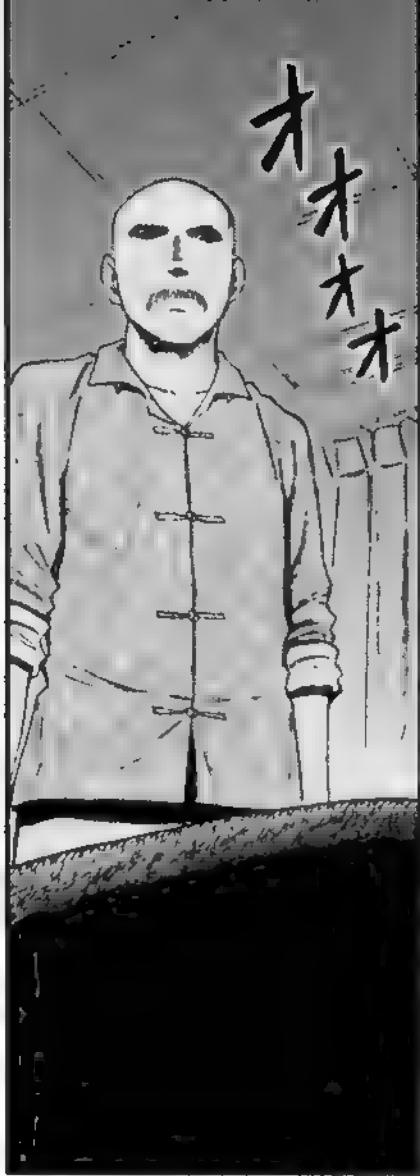
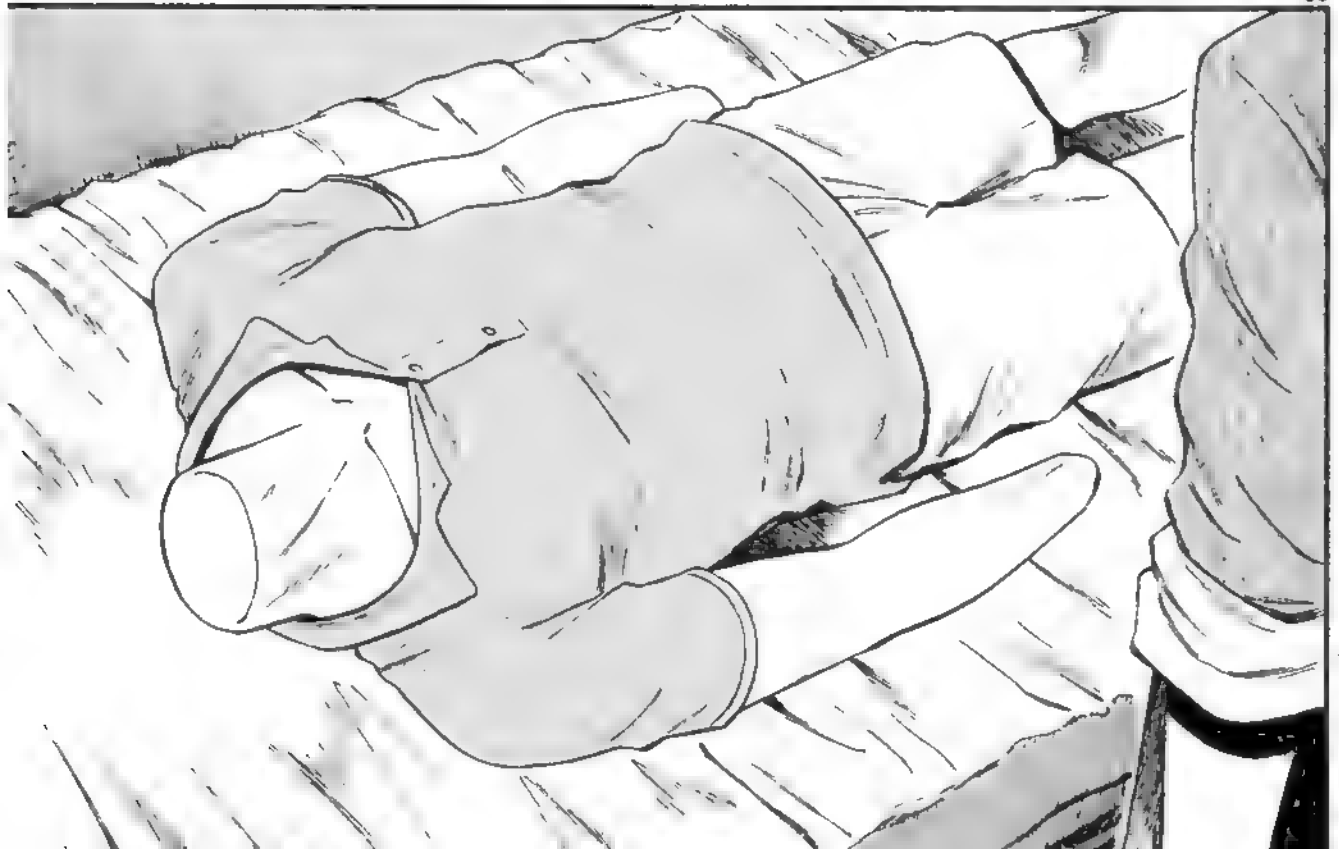
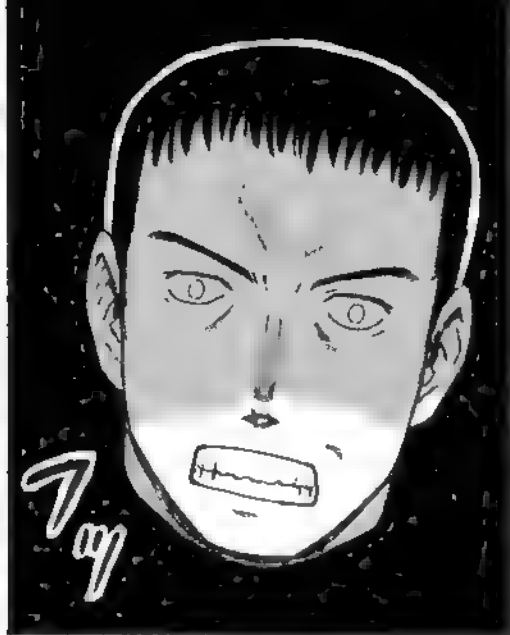
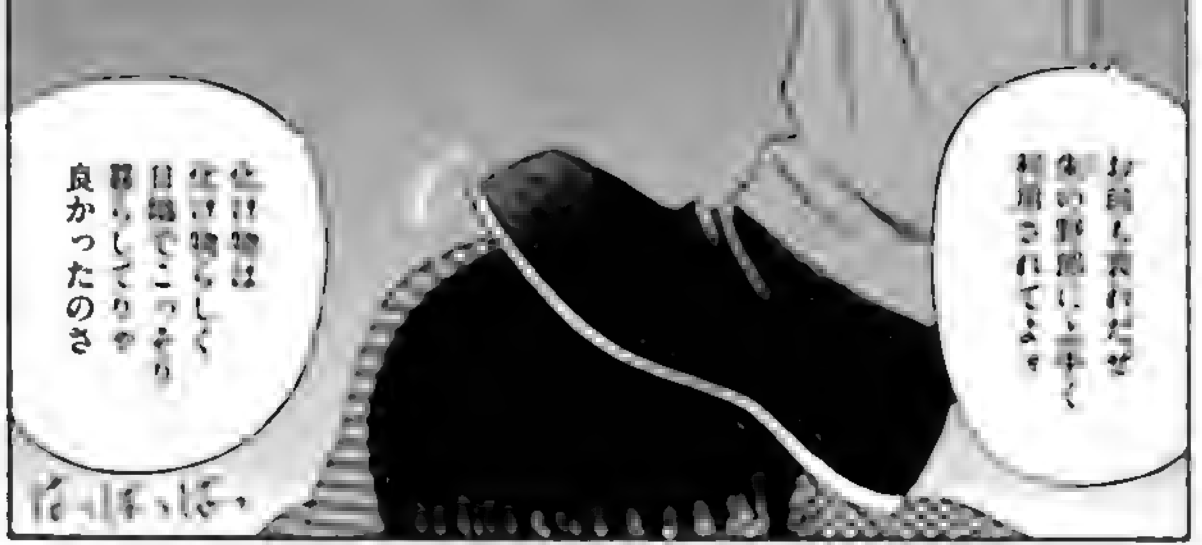
ゴオオオオオオ
おい!
おい!どうした!?

大叔！
早く此方へ！
屋敷の損害は構わん！
此処で確実に始末しろ！

ガッ

ドガッ

ゴオオオオ

黄!!
ハッ
コンコン
おおおおおお!!

考え直せ
黄
朱鉄心なぞに
付いていたのが
悪かったんだ
お前のような者が
生きる所なぞ
黒社会以外無い
今なら朱の勢力を
そっくりお前に任すぞ

何処かに
解放民の村が
あるかも
しれないねェ
あるさ
生きる所なんて
探してもある
俺が
生きてる
限りな
羨ましい
だろ?
54

ゴオオオオオオオ

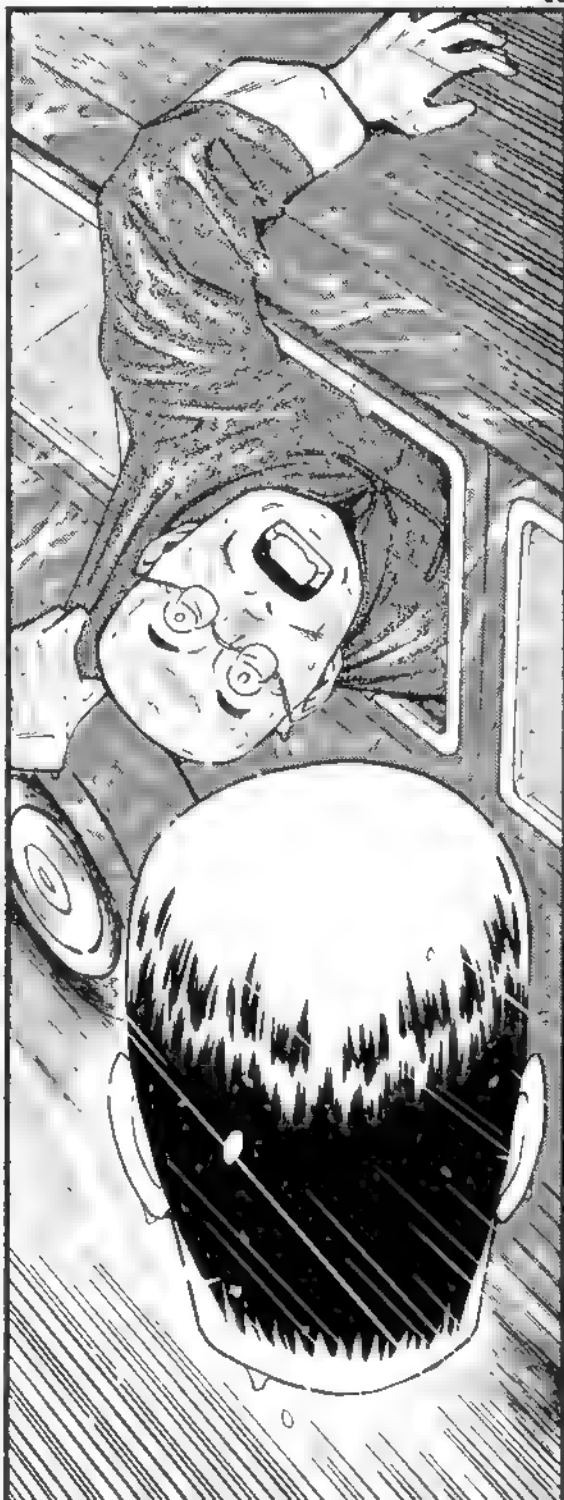
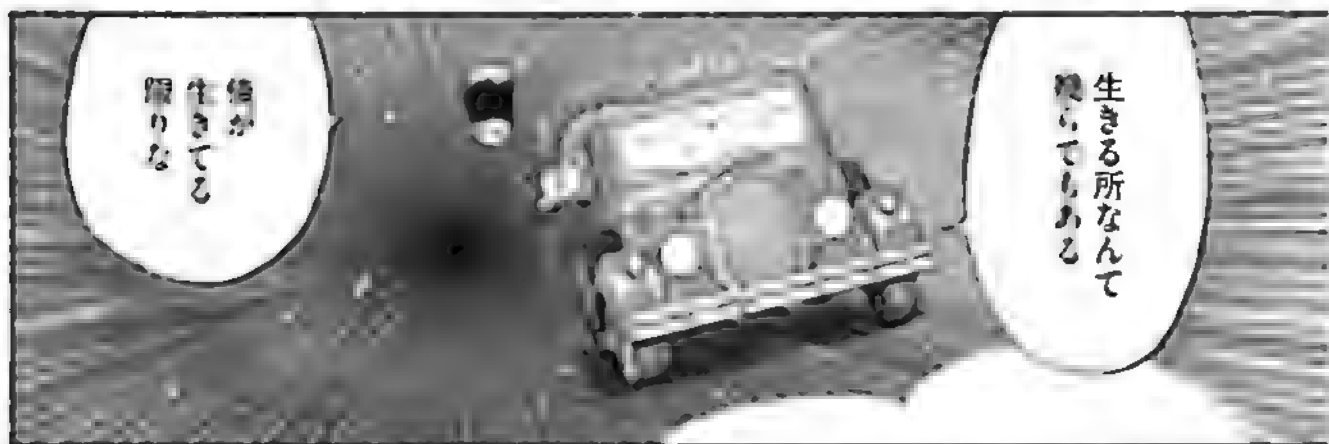
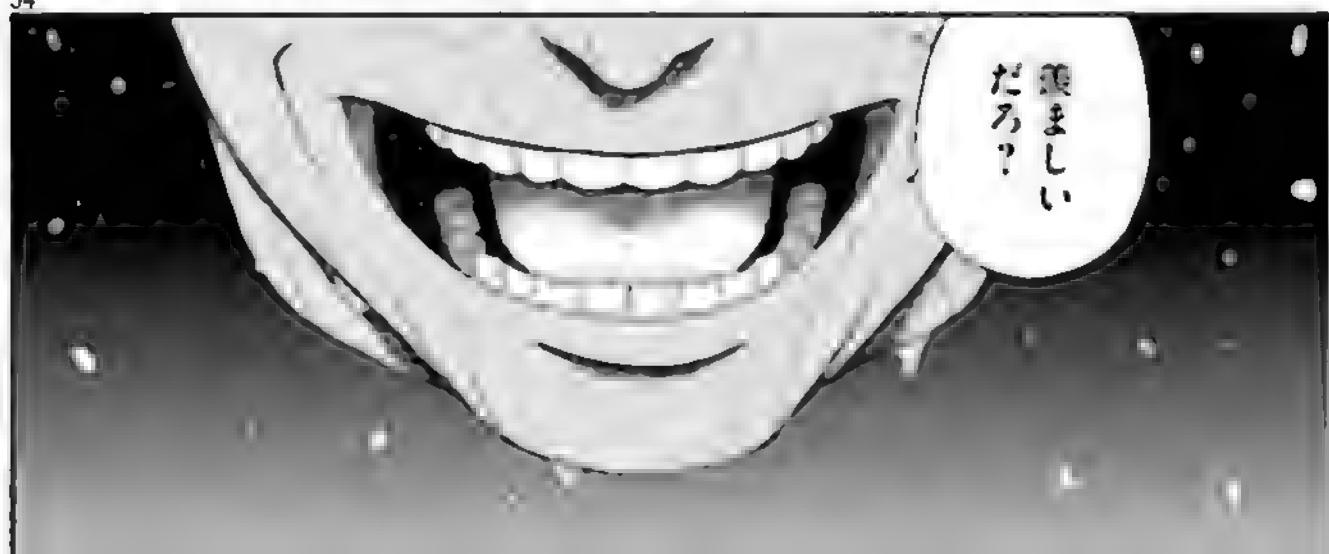
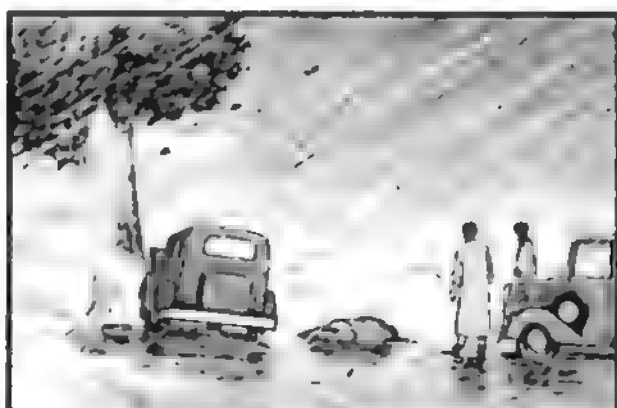
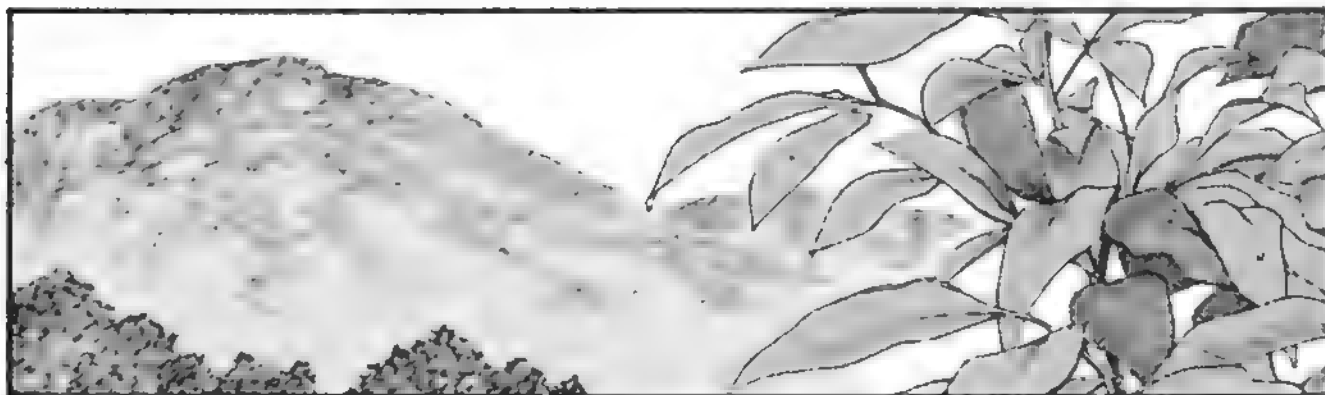
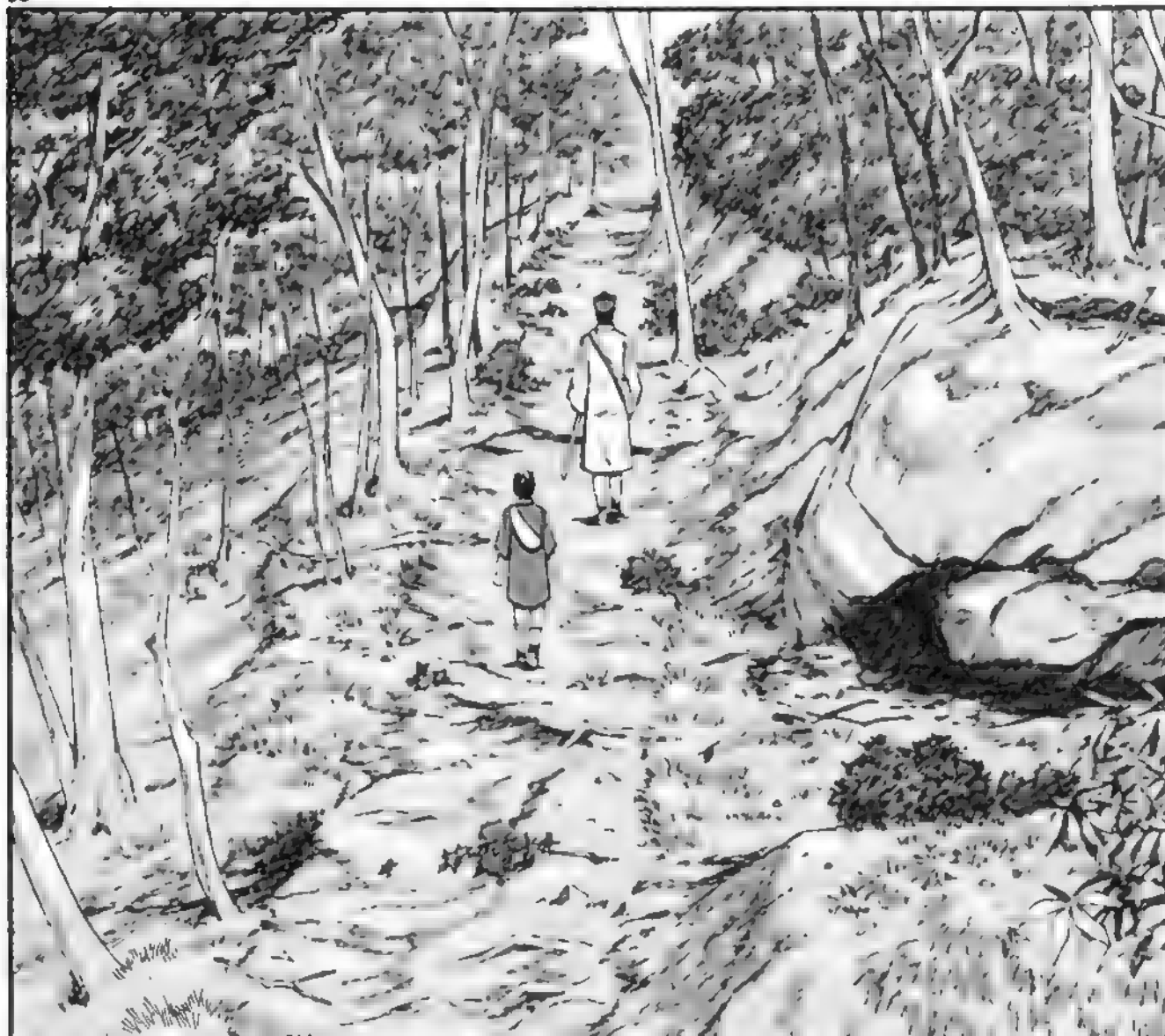
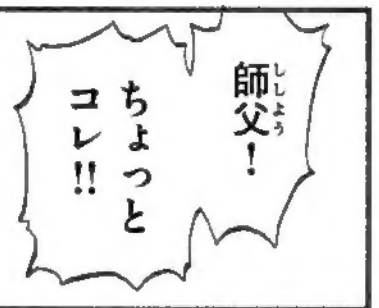
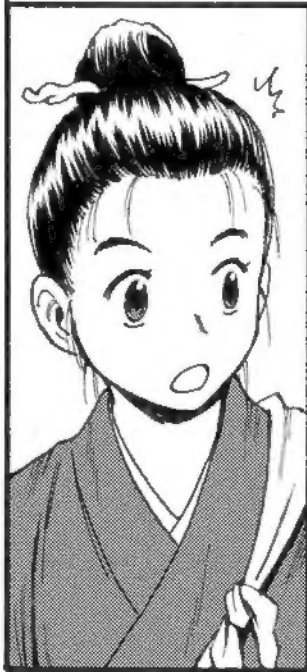
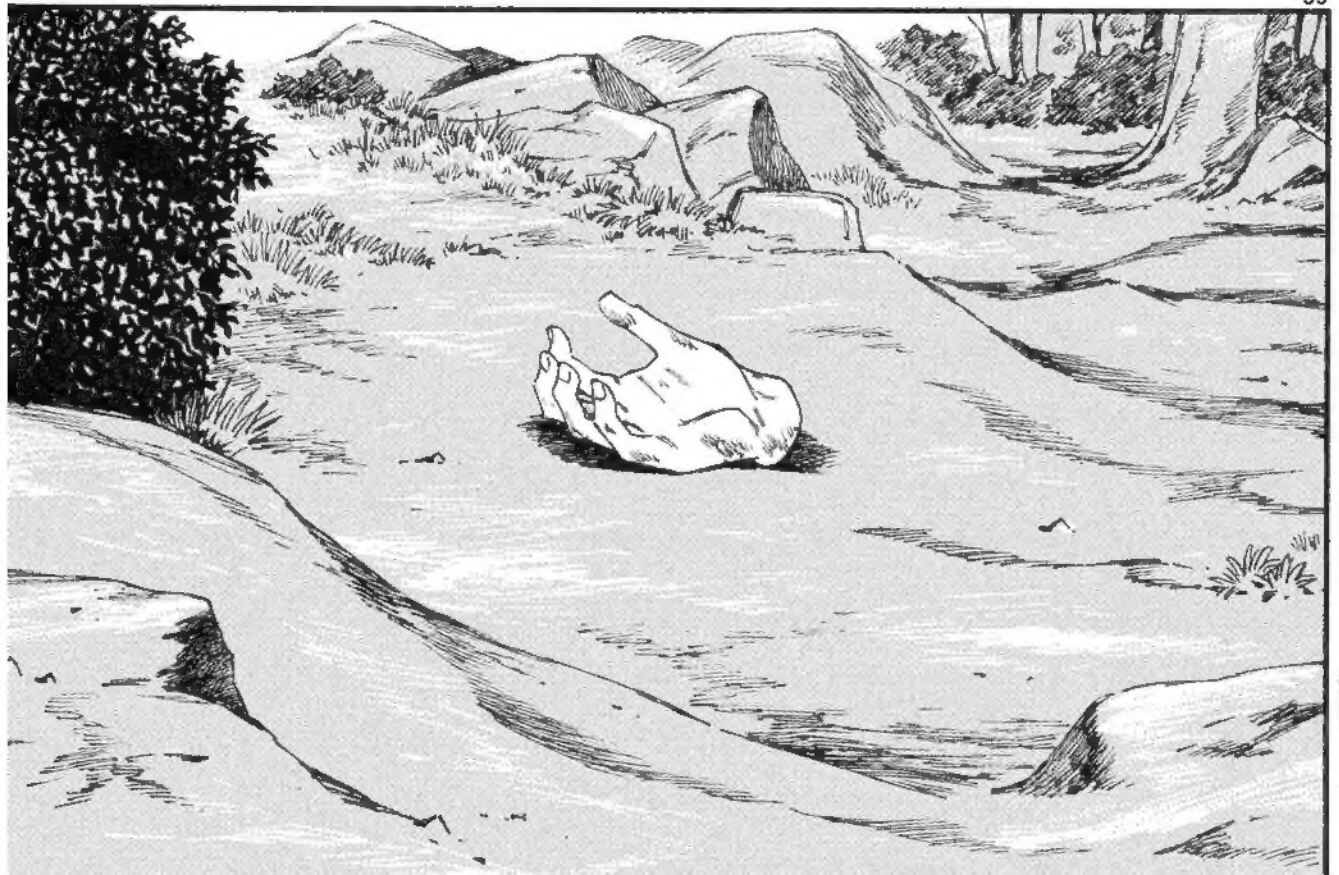
ゴオオオオオオ
ふら
ふら
あの樹で少し
……休もう

ドオオッ
パキ パキ パキ
ゴオオオオ

オオオォ…

こんな物まで
街から飛んで
来てる！

先日の嵐の
爪跡凄いですねェ
師父
そうだね

師父！
ちょっと
コレ!!

嵐で被害に遭われた方の物ですかね
それともこの辺に賊でも？
まさか

ん？
妙ですよこの手

切れ痕がありません

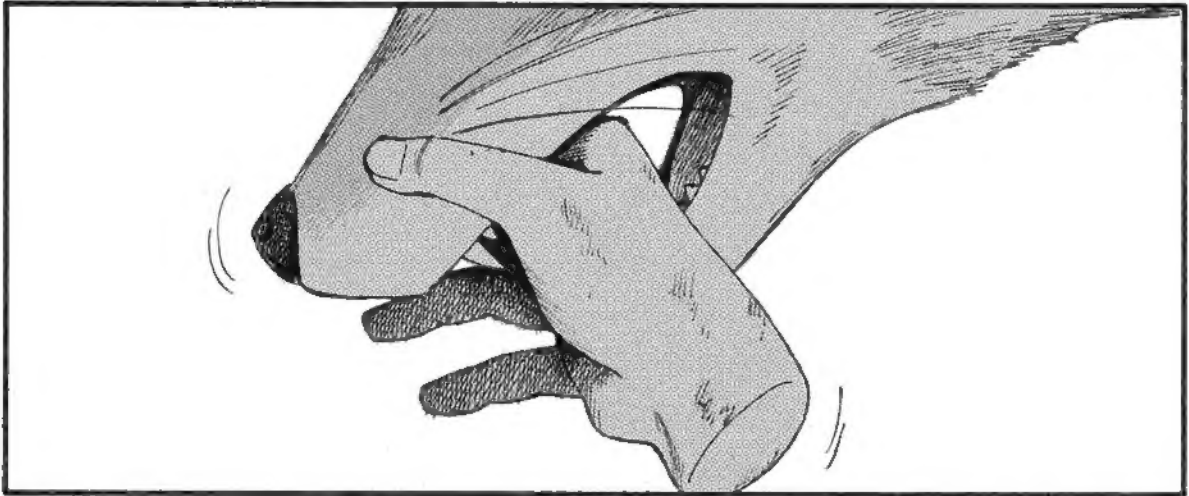
うわ！触った感じも普通に人間の手ですよコレ
毛もあるし
何なんでしょうねコレ

ふむ

唐の頃に記された『酉陽雑俎』に似た話がありましたね
貞元の始めに元固と云う男が道士と華山を歩いていると——

谷の中で一つの人間の足が落ちてたと
その足の履いてた靴も足袋も新しく切り傷は無くてただ膝頭のようになってたんだとか
へぇー!

じゃあコレもそれと同じ物なんですかね
そうかもしれないね

山中というのは不思議な事が多いものです
あまり関わらない方が良いほっておきましょう
は——い

忘れられし一族の集落は、きっとある──。

熊倉隆敏氏は新作準備中！ どうぞ御期待ください。